石財政第６０号
令和8年10月13日

各部局長　様

財政部長

令和９年度予算編成方針について

令和９年度予算編成方針を別紙のとおり定めましたので、各部局におかれましては内容を十分にご理解頂くとともに、予算編成に係る各種作業について遺漏の無いようよろしくお願いします。

（財政課財政担当）

令和９年度予算編成方針

令和8年10月　石狩市財政部財政課

骨格予算の編成

■ 令和9年は市長・市議会議員選挙の年であるため、予算編成においては

経常的経費や継続的な事業を中心とする「骨格予算」とする。

◇例）義務的経費、施設の維持管理経費、債務負担行為済の経費　など

■ 政策的経費を含めたすべての経費を通年予算ベースで要求することとするが、

政策的経費は、前年度からの継続事業等一部の事業を除き、基本的に当初予算での計上を留保し、選挙後の補正予算にて「肉付け予算」の編成を行う。

国の動向

■ 経済財政運営と改革の基本方針2026（骨太の方針）

◇2025年度の名目GDPは4％超の増加、物価高に押されながらも実質GDPは0.8％増加。世界経済を取り巻く環境が大きく変動する中、企業所得は堅調に推移、雇用者所得も名目・実質共に増加し、所得の増加が消費や投資を生み出す民間主導の循環が生まれつつある

◇「強い経済」を実現する「責任ある積極財政」の考え方を具体化するため、令和9年度予算編成において、物価・賃金上昇を的確に反映し、経済の成長力強化と名目の経済規模の拡大にふさわしい予算編成へと転換

◇補正予算は真に緊要性の高い施策に限定。恒常的な施策は当初予算で措置することとし、今後具体化を図る。その際、地方の財政運営と円滑な事業執行に支障が生じないよう、必要十分な地方財政措置を講ずる

本市の状況

■ 財政調整基金の状況

◇R7年度末残高 ：10.3億円

◇R8年度の補正を含む基金予算増減（積立・取崩）額 ： △3.7億円

◇標準財政規模に対する基金積立金の割合は1.9％と極端に低い（R8決算見込）

	R6	R7	R8（決算見込）
財政調整基金残高	6.0億円	10.3億円	3.8億円
標準財政規模に対する割合	3.2%	5.4%	1.9%
全道35市平均	19.0%	16.8%	-

■ 義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の状況

（単位：百万円）

	R4	R5	R6	R7	R8（決見）
人件費	3,865	3,817	4,078	4,307	4,588
扶助費	7,891	8,565	9,408	9,610	9,753
公債費	2,877	2,969	2,928	2,960	3,062
計	14,633	15,351	16,414	16,877	17,403
対前年度比	△6.6%	+4.9%	+6.9%	+2.8%	+3.1%

令和９年度予算編成方針

令和8年10月　石狩市財政部財政課

予算編成の基本方針①

Ⅰ　予算編成の前提となる市の計画等

◇市の重要計画に掲げる目標の達成に向けた施策を推進
　～「第5期総合計画」、「第3期創生総合戦略」

◇市の財政計画を意識した予算編成
　～「財政運営指針」、「公共施設等総合管理計画」
　※財政運営指針を踏まえ、基金（特に財政調整基金）の取崩は最低限とする

Ⅱ　予算要求にあたっての基本的な考え方

◇物価と賃金の上昇は市財政を圧迫する要因となっている一方、地域の強い経済を実現するためには、これらの上昇への適切な対応が求められていることから、これまで以上に歳出予算の適正化を図り、「ワイズスペンディング」と「スマートシュリンク」を徹底した予算編成を行う。

◇市税等の歳入の伸びだけでは上昇する経費を補えないこと、及び近年は財政調整基金をはじめとする基金取崩に過度に依存する予算編成となっている現状を職員一人ひとりが認識したうえで、社会経済情勢等を鑑み事業内容を的確に見直し、役割を終えたと判断する事業（補助金等を含む）については廃止を検討すること。
（新規・拡充だけでなく、現状維持であっても、何かをやめなければ立ち行かない！）

◇予算要求にあたっては昨年度に引き続き「枠配分方式」を採用することとするが、「マイナスシーリング」は行わない。また、「枠配分経費」においては配分額を超過した状態の予算要求は受け付けないため、物価等上昇分は数量や内容を精査し、配分内で要求し、配分額の超過分を「政策経費」として要求することは厳に慎むこと。

◇新規・拡充事業は、特定財源（地財措置を含む）の確保を考慮したうえで要求すること。

予算編成の基本方針②

Ⅲ　各部局からの予算要求について

◇部局間連携が求められる課題に対しては、関係部局間で十分な協議・調整を行い、状況に応じ、複数の部局や課が連携して予算要求を行うこと。

◇課題解決に向け、関係部局や市民団体等との協議の経緯や調整の過程、議会議論等を明確化し、課題の整理と議論の熟度を高めた上で予算要求を行うこと。

◇EBPM（Evidence-Based Policy Making：根拠に基づく政策立案）を意識した事業構築を行い、事業の必要性や効果等、説明責任を果たすよう努めること。

Ⅳ　時代の変化に応じた財源・資源の掘り起こしの徹底

◇国が掲げる重点施策については、国・道のホームページ、官庁速報（iJAMP）等を活用し、より有利な特定財源の確保に努めること。

◇地方公共団体金融機構（JFM）による「先進事例検索システム」等を活用し、他自治体の先進事例を研究した上で、質の高い事業を構築すること。
※JFM検索システムのHP：https://jirei.jfm.go.jp/index.php#result

◇ふるさと納税（企業版含む）の受け入れ拡大やクラウドファンディング、国・道以外の補助事業等の民間活力獲得につながるような、魅力ある事業を構築すること。
※ふるさと応援寄附（企業版含）実績　R6：9.6億円　⇒　R7：11.9億円

◇これまでの民間企業等との連携協定を積極的に活用すること。

令和９年度予算編成方針

令和8年10月　石狩市財政部財政課

財政収支見通し

（単位：百万円）

歳入			
項目	R9見込	R8見込	増減
市税	11,118	10,886	232
地方譲与税・交付金	2,769	2,768	1
地方交付税	7,918	7,662	256
（小計）	21,805	21,316	489
前年度繰越金	100	799	△ 699
財政調整基金取崩	0	964	△ 964
その他一般財源	123	123	0
特定財源	15,270	18,462	△ 3,192
うち市債	1,991	2,487	△ 496
合計①	37,298	41,664	△ 4,366

歳出			
項目	R9見込	R8見込	増減
人件費	4,602	4,588	14
公債費	3,259	3,046	213
扶助費	9,998	9,753	245
特別会計支出金	3,346	3,171	175
一部事務組合負担金	1,810	1,775	35
基金積立金	1,602	2,132	△ 530
投資的経費	2,003	2,963	△ 960
その他経費	11,828	14,136	△ 2,308
合計②	38,448	41,564	△ 3,116

※骨格・肉付けをあわせた収支見通し

①－②（財源不足額）　▲11.5億円

予算編成スケジュール

令和8年

11/6（金）　予算要求書提出期限（経常・政策いずれも）

11/13（金）・18（水）　第1回市長ヒアリング（概要説明）

12/16（水）～　財政部課長ヒアリング

令和9年

1月上旬　第2回市長ヒアリング（予算査定）

1月下旬　地財計画、最終調整

1月下旬　予算案内示、予算案確定

2月上旬　報道発表